

4/10
早稲田

関電の地震想定「疑問」

美浜3号機 規制委会合で批判

原子力規制委員会は九日の審査会合で、関西電力が再稼働を目指している美浜原発3号機（美浜町）の地震想定について、審査が先行する関電大飯3、4号機（おおい町）の経緯を踏まえず評価しているとして「大いに疑問がある」と厳

しく批判した。規制委側は会合で「資料を見る限り、大飯と美浜で（地下の地盤の状況に）差があるようには見えない」

と指摘。その上で「審査は交渉ごとではない。ここままで下げてもいいという腹案があるのに手の内に置き、必要があれば出さうという姿勢ならやめてほしい」と苦言を呈した。関電は「十分ご理解いただいていない部分は（非公

開の）ヒアリングなどで説明したい」と釈明したが、更田豊志委員は「非常に重要なので（公開の）審査会合で、関電の姿勢も含めて答えてほしい」と注文を付けた。

関電は美浜3号機の申請で、震源の深さを「四キロより深い」とした。先行する大飯3、4号機の審査でも当初、震源の深さを「四キロより深い」と提示したが、規制委の指摘を受けて「三キロより深い」と修正し、地震想定を厳しくした経緯がある。